

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 4月分

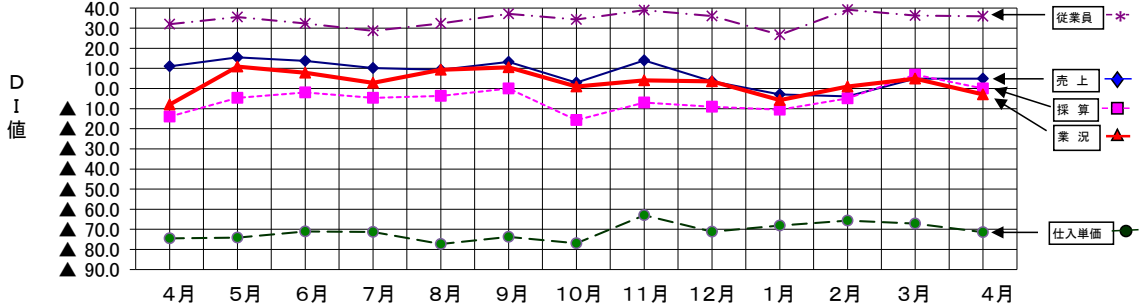
【4月の概要】

回復傾向から一転、全体的に悪化傾向が強まる
物価高、人手不足に悩む声が多い

直近の景況感を示すDI値は、「採算」で6.9ポイント、「業況」で7.8ポイントの悪化。「仕入単価」も4.2ポイントの悪化を示しており、5指標中3指標で悪化。先行き見通しを示すDI値でも、5指標中4指標で悪化を示し、なかでも「売上」で7.9ポイント、「従業員」で9.4ポイントと大幅に悪化。

コメントでは、北陸応援割による好影響や新潟駅リニューアルに期待を寄せる声が聞かれた一方、物価高や人手不足に悩む声が多く、依然として厳しい状況が続く。

直近の景況感を示すDI値(前年同月比)



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合) ※従業員=(不足)-(過剰)
(Diffusion Index の略)

	2023年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2024年4月
売上	11.0	15.5	13.7	10.2	9.3	13.3	2.9	14.0	3.6	▲ 2.9	▲ 3.9	4.9	4.9
採算	▲ 14.0	▲ 4.6	▲ 2.0	▲ 4.6	▲ 3.7	0.0	▲ 15.7	▲ 7.0	▲ 9.0	▲ 10.5	▲ 4.9	6.9	0.0
業況	▲ 8.0	10.9	7.8	2.8	9.3	10.5	1.0	4.0	3.6	▲ 5.7	1.0	4.9	▲ 2.9
仕入単価	▲ 74.5	▲ 74.1	▲ 71.1	▲ 71.3	▲ 77.3	▲ 73.8	▲ 77.0	▲ 63.0	▲ 71.2	▲ 68.1	▲ 65.7	▲ 67.2	▲ 71.4
従業員	32.0	35.5	32.4	28.7	32.4	37.1	34.3	39.0	36.0	26.7	39.2	36.3	35.9

- ・増減のない(横這い)DI値:売上±0
- ・プラス幅が減少したDI値:採算▲6.9ポイント、従業員▲0.4ポイント(需給均衡局面へ)
- ・プラスからマイナスに転じたDI値:業況▲7.8ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値:仕入単価▲4.2ポイント

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
2月	9.8	3.9	8.8	▲ 39.2	37.3
3月	15.7	6.9	5.9	▲ 47.1	30.4
4月	7.8	1.0	3.9	▲ 44.7	39.8

- ・見通しが改善したDI値:仕入単価2.4ポイント
- ・見通しが悪化したDI値:売上▲7.9ポイント、採算▲5.9ポイント、業況▲2.0ポイント、従業員9.4ポイント(人手不足局面へ)

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	設備工事	新潟駅及び新潟2kmに関する経済効果はこれから出てくると思う。今年度の受注増加に期待したい。
	ゼネコン	新卒採用、特に技術系は極めて売り手市場であり、採用活動に苦労している。
製造業	印刷	物価高、資材の高騰など、越えるべき問題は山積みではある。
	板金・溶接	先の見通しは見えないが、こういう時に若手をしっかり育てていきたい。
卸売業 小売業	青果	2024年問題により物流が合理化され、遠方の産地の商品が集荷しづらい傾向となることが懸念される。
サービス業	ホームセンター	ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化、円安基調の経済情勢を背景に、商品仕入価格の高騰は続いている。
	ホテル	「北陸応援割」の効果が非常に大きく、例年にないほど好調で推移している。
	タクシー	昨年度は全国でタクシー事業者の倒産が最も多い年となった。多くの場面で最速最良の経営判断が必要となってくる。
	警備	新入社員の採用は当初計画よりも少なかった。通年中途採用を行っていくが、先行きは不透明感が否めない。